

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月23日(金)	試合番号	ツ	回戦	準々決勝
種別	男子・女子	会場	(王子)・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
湧永製薬			大同特殊鋼		
得点合計	小計		小計	得点合計	
21	10	前半	10	22	
	11	後半	12		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

曾我 将男

共に優勝経験があり、現在日本リーグ1位の大同特殊鋼と4位の湧永製薬がベスト4進出を賭けた一戦。開始直後、湧永5番成田のロングで先制するもお互いデフェンスが固く立ち上がりは4-2で湧永がリードするも静かな立ち上がり。中盤以降も大同12番久保、湧永1番志水を中心にデフェンスの固い展開が続く。終盤、大同が固いフェンスから速攻で逆転するも、6番加藤の2回目2分間退場などで流れをつかめない。終了直前、湧永の速攻から8番小賀野のシュートが決まり前半は10-10で折り返す。後半は、大同20番東江(雄)のロングが決まりスタートするも互いに譲らず一進一退の攻防が続き後半20分で19-19。大同12番久保、湧永1番志水の攻守により終盤に入っても一進一退の攻防は続き、28分11秒に大同のコンビプレーから20番東江(雄)がポストシュートを決め、22-21とする。その直後28分35分に大同8番久保がファールし2分間退場となり、湧永に7mスローが与えられるも、湧永7番東江(太)が7mスローを失敗。ラスト10秒で湧永は、タイムアウトとり、最後のチャンスにかけるも大同のデフェンスに阻まれる。ノータイムスローとなり湧永5番成田の放ったシュートはゴールポストを叩きゴールならず、22-21で大同が激戦を制し、準決勝へ進出をきめた。